

10403311-034

△ 2 年次演習関連科目-34（組織の効率性について考える：論理的思考と情報共有）

2 単位/Unit 秋学期/Fall 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Second Year Advanced Seminar-34（Influence of Logical Thinking and Information Sharing on organizational efficiencies）

竹廣 良司

<概要/Course Content Summary>

本科目は 2 年次演習クラス 34 を受講する学生のために設置する演習関連科目であり、該当の学生は必ず受講しなければならない。

企業の戦略的行動や企業間関係を考える際に、効率的な組織が形成されているか否かが重要となる。本科目では組織の効率性を考えるため、ゼミにおけるチーム組織をベースとし、科目内での多様なワークによる体験を通じて、批判的視点からの論理的思考や、知識やスキルの獲得の重要性、コミュニケーションを通じた組織目標や情報の共有による効率性の向上について、メンバー全員で考えることを目的とする。チームごとのワークを通じての活動となるため、教室での授業以外にも、授業と同じ時間程度の準備をチーム単位で行うことが必要となる。

<到達目標/Goals,Aims>

ワークを通じて、学生自らが主体的な態度で問題を認識できるための知識を身に付け、解決のためにすべきことを見いだせる技能や、批判的検討を通じて論理的に思考する力や伝える力を身につけ、実践できるようになることを到達目標とする。

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the “DO Week”>

あり / Deliver the video

・ 2 年次演習関連科目_DoWeek

<https://doshisha.ap.panopto.com/Panopto/Pages/Viewer.aspx?id=270f71b5-e268-4100-b147-b1e900fd87e4>

<授業計画/Schedule>

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
	授業計画外の学習/Assignments		
第 1 週 DO Week	第 1 回	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
	授業の概要についての説明		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 2 週	第 2 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	チームビルディングと情報共有		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 3 週	第 3 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	問題の認識・発見・目標設定①		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 4 週	第 4 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	問題の認識・発見・目標設定②		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 5 週	第 5 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	解決のための多様なルートの発見		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 6 週	第 6 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	解決手段の検討		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 7 週	第 7 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	関係について考える：仮説の設定①		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 8 週	第 8 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	関係について考える：仮説の設定②		
	授業と同時時間程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		

第 9 週	第 9 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	インセンティブ, リソース, 制約条件の把握①		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 10 週	第 10 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	インセンティブ, リソース, 制約条件の把握②		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 11 週	第 11 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	効果・影響の予測と提示の重要性		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 12 週	第 12 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	知見についての効果的な提示方法		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 13 週	第 13 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	実践的トレーニング①		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
第 14 週	第 14 回	面接/Face-to-face	90 分/min.
	実践的トレーニング②		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		
授業期間終了後/ After the Class Period	第 15 回	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90 分/min.
	まとめと振り返り		
	授業と同時程度程度の復習並びにチームでの準備をおこなうこと		

学生の理解の程度等を踏まえ、授業の内容を一部変更したり、順序を入れ替える可能性がある。

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1170 分/min.
オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	180 分/min.
オンデマンド（授業内課題）/On-demand(assignment in class)	0 分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0 分/min.
その他/Others	0 分/min.
総合計/Totlal Amount class hours	1350 分/min.

アクティブラーニング/Active Learning

課題解決型学習 / PBL (Project Based Learning), 問題解決型学習 / PBL (Problem Based Learning), ディスカッション / Discussion, ディベート / Debate, グループワーク / Group Work, プレゼンテーション / Presentation

使用システム/System tools

e-class

<成績評価基準/Evaluation Criteria>

平常点(クラス参加, グループ作業の成果等) 50%

クラスで発表など 30%

クラスへの貢献度 20%

平常点においては積極的な発言等による授業参加の程度を評価する。発表についてはチーム全体としての取り組みが認められるか、個人の役割が責任感を持って達成できたかを評価する。本クラスの目標を達成するために、個人として関与できた場合はクラスへの貢献度として評価する。

<参考文献/Reference Book>

必要に応じて授業中に指示する。

<連絡方法/Contact method>

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

e-class または E メール

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

e-class または E メール（メーリングリストによる配信含む）